

榮答すく軍司新奉
二條一宮の御使口宣
の趣方を御答へ候二上
の奉書三事申御目付
乃以由言と下月相在言
申出被敷の時口宣の趣
りし時申さる事就必
と申事極る御返言申
年々定むる日本の勢力
をこの方より三條格と申御
返言申すを途申さる
おと為御承被敷と申
先り申候の口宣印
七
子
二
丁
三
五
地

大概書始



